

授業改善(家庭科)

テーマ:科目家庭基礎における「授業改善の取組」

日時:平成27年度 4月～3月

授業者:林智子

対象者: 2年生

■ 企画の概要: グループ学習や体験学習を通して生徒の学習意欲を喚起し、実践的態度を育てる

- ・生活体験が乏しいという生徒の実態に合わせ、グループ学習や体験学習を通して実践的な態度の育成を図るようにした。
- ・多様な考え方や生き方があることに気づき、自分の生き方を考えられるようにするため、グループ討議を取り入れ友人の考えや意見を聞いたり、自分の考えを述べたりすることができる機会を設定した。

■ 企画内容: 授業で取り組んできたこと

・実験実習の充実

例) 調理実習: 調理することだけでなく、環境にも配慮できるように生ごみの出し方や洗剤・水・ガスの使い方などに気を付けて実習できるようにした。取り組めたことを自分で確認できるように事後プリントに環境配慮の項目を入れた。乳幼児、高齢者を対象にした調理では対象者に合わせて調理することを目標に実習させた。

保育分野での実習: 絵本の読み聞かせ、児童文化財の制作は、ペアで発表することにより互いに良い点と改善点を指摘し、どのようにすればよいか自分で気付くことができるようにした。

・家庭クラブ活動の推進

高齢者福祉施設訪問で、対象者の状況を想定させて交流内容を企画させた。交流活動を通して、高齢者とのコミュニケーションの回り方やコミュニケーションをとることの楽しさを体験的に学ばせた。

・夏季休暇課題を活用した実践力の定着

学習した内容を活用して朝ごはんコンテストなどに応募させた。意欲のある生徒は、自分の生活を見直し気付いた課題を解決するために実践するホームプロジェクトに取り組めるようにした。

・グループ学習を取り入れることによる言語活動の充実

持続可能な社会をつくるためにできること、子どもを取り巻く環境の変化と課題などのテーマについてグループで意見を交換してクラスで発表することにより多様な考え方や意見があることに気付けるようにした。

■ 生徒の感想

- ・油類をなるべく流しに捨てないように気を付けられた。食事は毎日するものだから環境に気を付けるのは大切だと分かったし、これからも意識しようと思った。
- ・片付けの時に私はいつも油の付いた皿をそのまま水に流して洗っていたけれど、この調理実習を通して新聞紙や牛乳パックを使うことで油を流さなくて済み、環境にもよく感動した。次から家で実践したい。
- ・今回初めてお年寄りの方と折り紙をして、最初はしっかり話をするのができるのかすごく不安で、正直「嫌だな」という気持ちがありました。でも一緒に鶴を折っていると、おばあさんがお母さんとの記憶を思い出して懐かしんで笑ってみえたので、喜んでもらえてすごく嬉しかったし、楽しかったです。
- ・訪問は2回目でしたが、私は自分と年齢が離れた方と接することがあまり得意ではありません。苦手だけど、このような体験はとても貴重な体験だと思います。だから「このような体験一つ一つを楽しくやって行けたらいい」と思いました。



家庭クラブ施設訪問(高齢者福祉施設での交流活動)



家庭クラブボランティア活動(特別支援
学校バザーでの販売補助)